

教え子を再び戦場に送るな！

「戦争法」の廃止に向けて

事務局 内山正知

戦争法廃案の取り組みには、これまで新高退においても、総会特別決議（代議員58人）に基づき、「総がかり運動」等に延べ130人以上が参加してきた。

しかし戦争法は、「安保法制」として、9月17日参議院で、前日行われた地方公聴会の報告手続きすらすつ飛び出し、議場騒然・聴取不能の中、委員会採決が行われ賛成多数で可決、さらに翌々日の19日に本会議で成立したことになった。この戦争法は憲法違反の法律であり、立憲主義に反し、平和主義に反し、民主主義を踏みにじつたものでそもそも法律たり得ない。

私たちはこれから何をなすべきかについて、11月2日、県民会館小ホールで、「戦争法廃止！ 安倍政権退陣！ 総がかり行動県民集会」が開催され、金子修弁護士から、「安保法制は成立した、これからどうなる

の？・・・」と題して講演が行われたので、それを踏まえて提起する。

平和主義を捨てたことで、日本国民が外国に出かけ、戦闘員として外国人を殺し殺され、あるいは旅行者として殺される可能性が極めて高くなつた。

自衛隊員の行動範囲が周辺地域から世界中どこへでも、非戦闘地域から戦闘現場の直前まで拡大し、兵站も救援物資（核を含む）までと限度なく拡大する。日本が武力攻撃された場合の反撃のみから集団的自衛権行使で他国（主にア

メリカ）が武力攻撃された場合に一緒に戦争行動をすることになる。

各種の世論調査

により、5割以上の國民が成立に反対し、7割の國民が慎重な国会審理を求め、8割の國民が説明不足と考

えていたのに、自公は数の力で無修正のまま強行採決した。さらに、9割以上の憲法学者や全国の弁護士会

が「憲法違反」と主張したことに対するは「学者や弁護士に何が分かるか」と吐き捨てた。

それでは、もう諦めなければならぬのか。そんなことはない。

戦争法に反対する取り組みには、従来の運動と異なり若者（SEA L D S）、若い母親の会、学者・弁護士、組織化されていない個人など、様々な人たちが自らの意思で加わっている。安倍の「どうせ諦める。すぐに忘れる。」という目論見を突破しなければならぬ。

◆ 新高退のぼり旗 ◆

日教組から新高教を通して、標記のぼり旗制作を告げられたのが、8月中旬、すぐに3本が届けられた。「戦争法反対」の集会・デモ行進等で、退職者の会の活動をアピールするに絶大な効果を發揮した。

当初、提示されたデザインでは赤一色の地色だったが、集合時に分かりやすく、他組織の組合旗と区別のため、下部斜めに会旗と同色の紫を入れた。

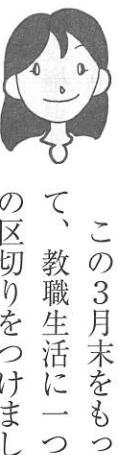
**新潟県高等学校
退職者の会**



8.30総がかり行動

新高退に入会して

新発田村上支部 中山比呂子 (14)



この3月末をもつて、教職生活に一つの区切りをつけました。しかしながら、再雇用ではありませんが、非常勤講師として2ヶ校かけ持ちで週13時間を担当し、完全にリタイアはしていませんので、日常似たような生活が続けていますが、高教組組合員は卒業いたしました。

高教組には在職中大変お世話をなりました。かけ出しの教員の頃には、教育の民主化、職場の民主化に向けて数々のこととを高教組を通じて教えて頂いたと感謝しています。

旧高校会館のステージのそでに掲示されていた「教え子を再び戦場に送るな」というスローガンを初めて見た時の鮮烈な印象を今も思い出します。(今はこのスローガンは掲示されていません。)私が在職した32年間で、組合の最も勢いのあつた絶頂期と分裂、そして組織率の低下、県当局の過度なる組合への介入等現在に至るまでの盛衰を経験させてもらいました。

した。一つの感慨があるとともに屈辱的な思いも感じています。

今の現場はトップダウンが横行

し、民主的な雰囲気がいちだんと失われてしまっています。このままでいいのだろうか、後戻りできない方向に動いていると日々感じていました。今年に入つてからは安倍内閣が推し進める安全保障関連法案成立への動きと、憲法「改正」の目論見が要注意です。成立に対しても阻止しなければなりません。

しかし個人の思い、力だけではやれることに限界があります。こういう時こそ組織、組合の存在が必要になると感じます。

私は一番身近な職場の中の組合としての高教組の必要性を痛感し組合員を続けてきました。今後は

何らかの形でお手伝いができると思っています。(本原稿は6月に寄稿してもらつたものです)

退職をして半年

新潟支部 高橋清貴 (14)



今年の三月末に新発田南高校を最後に定年退職しました、高橋と言います。その前は、新潟地区の学校を2校勤務し、あわせて3校の学校の勤務をしましたが、工業科の担当であったことかと思いますが、少ない学校数また通勤しやすい学校と、恵まれていたと思います。

さて、新発田南高校には、10年間勤務しました。その間に、組合本部の仕事にも関わることができ、何かと勉強させて頂きました。

現在は、新潟市内に住んでおります。退職をして半年が過ぎ、少し落ち着いてきたので、短時間の仕事でもあればと考えているところです。

私が退職者の会に加入するにあたり、現職の時から多少の関わりもありましたので、早々に加入をさせて頂きました。まだ、活動に

ほとんど参加しておりませんが、今後考えていきたいと思っています。

これから何かとお世話になることが、多々あるかと思いますが、よろしくお願い致します。

近況

新潟支部 志苦純子 (14)



退職し7ヶ月がたった。仕事を辞めた今までできなかつたことをのんびりとやろうと漠然と考えていたが、前から関心のあつたいくつかの習い事を始めた。

茶道・ピアノ・筋トレ・英会話など。考えていた計画は実現しているものもあれば、教室に入会したもののがちなものもある。でも余り多く始めて忙しくなりすぎでは本末転倒である。楽しいと思える事を続けていかなければいけないと思う。

もう一つ退職後にしようと思つていたことが、空き家にしている親の家を片付け、老後に向けて住みやすくリフォームすることである。4月以降展示場の見学・業者選定とすすめて、夏の暑い中を毎日片付けに通つた。衣服から家財

道具までとつておいても仕方のないものばかりで、よくもこれだけのゴミの中で暮らしてきたと思うほど捨てた。各種買い取り業者にも連日通った。貴重・高価だと思っていたような書籍が二束三文の値をつけられても捨てるよりはましと大量に引き取つてもらつた。だが、この作業は心身ともに消耗した。先に延ばしたらもう体力的にできなかつたかも知れない。また、今後はものを増やさない生活をしようと、しみじみ思つた。わが家には、現在出産で帰省した娘も孫と共に滞在中である。実家が完成したら皆で引っ越す予定でいる。第二の人生も当面忙しさが続きそうである。

第23回新高退囲碁大会
Aクラスは笠原さんが優勝
9月3日、高校会館で恒例の新高退囲碁大会が開催された。
はじめて係より競技方法の説明があり、その後、対局者がスタートした。大会は、選手をAクラス（5段以上）8名、Bクラス（4段以下）8名に分け、9月10日の

囲碁大会結果

4位	3位	2位	B 1位	クラス 氏名
有坂 勝	市橋 昇	荒井 一郎	藤巻 繁雄	支 部
三条加茂	佐渡	上越	魚沼	支 部

A 1位	2位	3位	4位	クラス 氏名
笠原 均	知野 敬慈	野口 文人	飯塚 良彦	支 部
新津	長岡	新潟	三条加茂	支 部

県大会に出場する選手を選抜する権を得た。(敬称略)

第23回県退教囲碁大会

Aクラスは飯塚さんが優勝し、

北陸ブロック大会へ

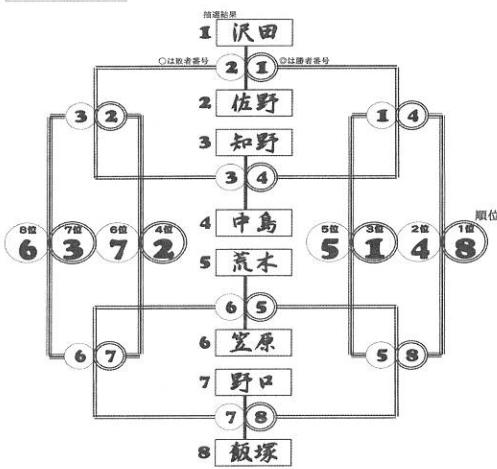
9月10日には、新教組会館で恒例の県退教囲碁大会（北陸ブロック大会予選会）が開催された。新教組の事情で、今回の参加者

この囲碁大会は、「スマートトーナメント」方式で実施されています。

通常の勝ち抜きトーナメント戦は、1回負けたら終わりで、最初の方で負けてしまうとそれ以降はする事が無くなってしまう。当然リーグ戦では全ての参加者が最後までゲームをするために時間がかかりすぎる。これら2つのトーナメント方式のいい所を組み合わせたのが「スマートトーナメント」です。

第23回 新潟県退職教職員囲碁大会 スマートトーナメント方式による組合せ表 2015.9.11(金)

グループ A・B



● 戰争をした国の記憶(リレートーク)

「私の学徒動員(2)」

わたしの運命を変える事態が・・・

飯塚良彦(89)(新潟支部)



この頃、わたしの運命を変える事態が起きた。それは私たちの現場に東大理学部の学生たちが研究のために配属され、私たちを掴まえて原子物理学の講義をしてくれた。彼らとしては、既に修得した学識の確認と新しいビジョンの模索のためだが、彼ら同士で論じ合ひながらも私にはできるだけ判り易く、まったく知らなかつた境地に私は醉つた。中でも、マッチ一箱の大きさでハワイ全島を吹き飛ばす威力のある原子爆弾がいま日本に出来つた。その原理はこれこれ、こうだと詳しく説明された時、戦局は既に絶望的だつたが、勝利へ一抹の望みを繋いだ。

荷物をまとめて帰寮すると、級友たちは皆ヤケになつて、工場から持ち出したエチルアルコールを呑み、急性アル中でぶつ倒れていた。メチルでなくて良かった。

国民総蛾鬼状態、各地で餓死者、強盗、殺人、放火・と殺伐な世相の中で、サテ俺はこれからどうするの?、と考えたが、どうしようもない。大部分の同級生たちに同調して、取り敢えず上級学校を目指すこととした。

8月7日朝、出勤の途上、高田駅頭の朝刊の見出しに「広島に新型爆弾・・」をチラリと見て、アッこれは原子爆弾だ!、アメリカに先を越された!と絶句し、初めてこの戦争は負けたと思つた。敗戦の玉音放送はラジオの雑音で全然聞き取れなかつたが、内容は判

り切つていた。



原爆投下直後のヒロシマ

が、難問。金が無いのは今更始まつたことじやないが、学力不足が決定的だ。上級学校を目指す殆どの者は、陸士や海兵で軍の幹部養成教育を受

け、敵性語の英語をはじめ他の教科も相当学んでいる復員者や、病気と称して学徒動員をサボリ、自宅で受験勉強に専念していた者ばかりだ。俺はどうだ?。中学入学当初、国文系の学科を少しかじつた程度、でも大部分忘れかけていた。数学はほんの入口だけ、英語がアイアムアボーカドくらい。これじゃ、これから入試まで半年、いくらしやかりきになつてもダメだと諦めかけたが、「待てよ、学徒動員の工場で知った化学と東大生に教わった物理があるじゃないか。英語はあんなじや、文系は到底無理だが、理系なら、理科が一発当たれば、何とかなるかも:」と急遽理系に志望を変更した。

最後は英語、ここでトチつた。主語のW H E E L(歯車)をW H A L E(鯨)と早合点した。不審なところは多々あつたが、流麗な訳文を作ることばかりに気を取られた。

英語力の不足をどうすれば良いか尋ね回つたら、二年先輩の受験のベテラン曰く「英語は長文の英文和訳が出題される筈だ。そしたら先ず主語は何かを掴め、他に単語が少しはあるだろうから、それらを主語に合わせて訳文を作れ。訳文は

本文でなければならぬ」と。心得た!訳文なら任せとけ!と勇躍。敗戦から半年、死に物狂いの間に合せの勉強をしてある学校を受験した。国語は上出来、数学もまずまず、理科は山が当たつて食塩の電気分解。動員の現場で、隣が熟知、それに、東大生から学んだ原子物理学を織り混ぜて自信たっぷりの答案を書き上げたとき、これで合格間違いと思った。

数日後の学科試験合格者発表ではナント!級友十数名の中で合格したのは私一人だった。理科様様のお陰と思い、どうせダメだと諦めながら身体検査を受けたがやはりダメだった。(完)

『活動日誌』・点描

選考委員会（7月14日）

木村会長が選考委員。連合新潟高

齢協第23回定期総会（7月21日）

教育をよくする新潟県民会議第

4回定期総会（7月21日）高校授

業料無償化の復活を求めてとりく

むなどの活動方針を決定。大森直

樹さん（東京学芸大学）の道徳の

教科化を考える「戦前回帰の現代

的意味は何か」の講演は大変示唆

に富むものでした。■2015年

度第2回役員会（7月23日）新任

の阿部副会長を含めての新役員

会。任務分担と事務局からの加

入・退会防止についてなどの諸課

題について意見交換。■被爆70周

年「原水禁県民大会」（7月25日）

■戦争法案廃案・総がかり行動

（7月27日）新潟市陸上競技場サ

ブグランドで開催。古町までのデ

モも盛大。会員の参加も27人と最

高。■安保法制・緊急市民集会

（8月1日）県弁護士会の主催。

新高教顧問弁護団も参加。■海渡

雄一弁護士の講演&映画「日本と

原発」上映（8月2日）原発事故

さえなければ、多くの命が助けら

れたはず！映画と弁護士は訴え

る。■「現職・新高教本部の『戦

争法案強行採決に対する抗議のと

りくみ2』について」を発送（8

月7日）■新高教東・西新潟支部

合同「憲法学習会」（8月21日）近

藤正道新高教顧問弁護士の「憲法

の現状と主権者教育」と題しての

講演。新高退参加者10人。佐渡支

部／上越支部／柏崎支部などでも

実施■8・30戦争法案廃案！

安倍政権退陣！新潟大行動

（8月30日）西大畠公園で雨

の中集会とデモ行進。会員の

参加22人。■ピース・パレード（9月9日）県弁護士会主

催の第2弾。新潟駅南口広場。

会員の参加25人。■9・16絶

対に強行採決を許さない！緊

急県民大集会（9月16日）参

議院の山場。新潟駅南口広場。

9日を上回る2000人超え

る結果。会員の参加26人。■怒り

の緊急集会（9月18日）新潟市役

所前・噴水公園での朝8時からの

スタンディング、引き続きの抗議の

座り込み、正午から集会、恵谷小

路までのデモ行進を貫徹。会員の

参加8人。（事務局 石野公久）

◆岡崎康行著「曇り硝子」

著者は、山形県出身で、新発田市に住む元高校教師。1963年

に宮松二が主宰するコスモス短歌

会に入会し、歌人としても活動、

現在は短歌誌「コスモス」選者の

一人である。

地元の文芸誌などに掲載した、

文学と旅を織り交ぜた随筆6編と

「コスモス」などに発表し

た、松二を中心とした短歌の

評論4編を収める。

「宮松二『若きかなしみ』

を読む」と題した編もあり、

松二の歌や生涯、創作の背景

となるエピソードなどをつづ

る。師である松二への強い思

いが伝わってくる一冊だ。1

944円。

（新潟日報「郷土の本」から
転載）

◆会員からのたより

いつもおたよりありがとうございます。120号の糸魚川の旅の

います。120号の糸魚川の旅の

ようす、興味深く拝読いたしました。母もいま要介護となつており

ます。在職中をなつかしんでいま

す。（娘代筆 高波文江 魚沼市

青島）

※告知等

◆「戦争法の廃止を求める
統一署名」

目標・2千万筆
期間・2015年11月3日～
2016年4月25日

呼びかけ・職争をさせない10
00人委員会／解釈で憲法9条
を壊すな！実行委員会／自由と
民主主義のための学生緊急行動
(SEALDs)／安保関連法
に反対するママの会／NGO非
戦ネット等多くの団体

※同封チラシ、署名用紙で署名
にご協力下さい。

◆通信「戦争をした国の記憶
(リレートーク)」執筆者募集

敗戦80年の時には、おそらくも
うこの様な特集は組めないと考
えられます。自薦、他薦不問。
執筆して頂ける方は事務局まで
ご連絡を！

◆新高退名簿

発行・2016年6月
装丁・A4版／索引付き
配布・会員各人に各1冊
予告・個人情報保護の観点か
ら、今回より申し出により、特
段の事情がある方については、

「住所」と「電話番号」を記載
しません。事情のある方は20
16年1月末日までにお申出
下さい。

◆新会員加入の取り組み

引き続き、過去の未加入者に対
する加入取り組みにと加入見込
み者の情報提供を事務局まで！

◆会費納入のお願い

今年度会費未納の方は、今年度
中に納入を！

編☆集☆復☆記

今号のトップ記事は生涯学習委
員会企画の研修旅行、「靖国神社
を自分の目で見る旅と班別研修で
巡る東京」とした。「一人では来る
ことのなかつた靖国を自分の目で
見ることができてよかったです。内田
弁護士から説明を受けながら見る
ことで靖国神社の本質が理解でき
た」との感想が寄せられ、この旅
行を企画して本当によかったと感じ
た内田弁護士からは、意気に感じ
て案内をして頂けたことに感謝。

県内の研修旅行と比較して、県
外それも都内の旅行は、移動（特
に地下鉄での集団移動）、宿泊、
懇親会などに神経を使つたが、特
にトラブルなく終われたのは、生
涯学習委員の慎重な準備と参加者
の協力のたまものであった。

地公3単産学習会講師の白井聰
さんは、「日本人の主觀に、日本
は戦争に『敗けた』のではなく、
『終わった』とし、敗戦を『なか
つたこと』にしていることが、今
もなお日本政治や社会のありよう
を規定している。私はこれを、
『永続敗戦』と呼んでいる」と話
す。東電原発事故後の政府の対応
は、全くこれと同じ構図。

福祉厚生委員会企画の学習会

「認知症を学ぼう・私とまわりの
人のために」の講師を引き受けた
頂いた等々力さんは福祉施設の仕
事をしながら、「家族の会」の仕
事をしているが、患者家族に負担
を強いることもできず財政は厳し
いと話す。

「戦争法廃止に向けて」は、違
憲の戦争法が成立したことを受け
て、「安倍首相が、憲法をぶち壊
した。こんなことが本当に起こる
とは！正気とは思えない。このま
までは何が起こるか分からぬ。
私たちにできることは？」との思
いから、会員に問い合わせるもの。

戦争法廃止まで退職者も本気で取
り組もう。

「新会員からのたより」は今年度
2回目、3人から寄稿して頂いた。
リレートークは飯塚良彦さんの
後編。敗戦後、上級学校を目指し
た頃の悪戦苦闘がよく伝わってく
る。その頃の様子を鮮明に記憶さ
れていることに驚く。脱帽である。
「COLUMN」には、通信「文
芸」の句評をお願いしてきた岡崎
康行さんの著書紹介（転載）と会
員からの便りを掲載。「告知」は本
部発のお知らせ、「COLUMN」
はそれ以外の紹介と使い分ける予
定。

（内山）

会員訃報

謹んで哀悼の意を表します。

草間 順一さん (87歳)

(上越支部) 9・17

小沼 修衛さん (93歳)

(魚沼支部) 9・24

青木 仁さん (75歳)

(新津支部) 10・12

樋口 良平さん (85歳)

(上越支部) 10・18

満田 誠二さん (83歳)

(上越支部) 10・18

宮澤 達彌さん (83歳)

(長岡支部) 10・18

田巻 隆作さん (82歳)

(新津支部) 11・8